

【京大病院火災】煙吸って数人軽症 1階の1室を全焼 微量の放射性物質も検知



1階部分から激しく炎が上がる京大病院の旧産婦人科病棟＝提供写真

京都市左京区の京大病院で1日夕、発生した火災で、鉄骨地上4階地下1階建ての旧産婦人科病舎のうち1階の1室約30平方メートルが全焼した。数人が煙を吸うなどして軽症とみられる。京都府警川端署が出火原因などを調べている。

同署や市消防局によると、現場は病院の東キャンパス構内にある施設で、現在は病棟としては使用しておらず、研究施設などとして使われている。当時は、室内は無人だったという。

市消防局によると、火元となったのは、微量の放射性物質を扱う実験室だったといい、現場で、微量の放射性物質を検知したというが、人体には影響のないレベルだという。